

市政に対する

一般質問

各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧いただけます。



大瀧 和弘 議員

- 令和6年度予算について
- 次期「真岡市総合計画」の策定について
- 空き家対策について
- スマート農業の推進について
- 真岡市都市計画マスタープランについて
- 真岡てらうち産業団地について
- 市街地整備について
- 学校運営協議会の設置推進について



一般質問はこちら

令和6年度当初予算の特徴は

代表質問

令和6年度は、真岡市総合計画2020—2024および第2期真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度であり、その施策、さらには重点プロジェクトを含めた見直しを踏まえ、地域計画へ引き継ぐ重要な1年になると考えています。

あわせて、真岡市70周年および二宮誕生70年という節目の年にふさわしい事業が期待されているところです。そこで、令和6年度当初予算の特徴について伺います。

答弁

予算編成に当たっては、JUMP UPもおか～だれもが“わくわく”するまち～を目指し、市民の皆様が希望を持って、楽しさを実感し、安心して生活のできるまちの実現、そして、真岡市市制70周年及び二宮誕生70年にふさわしいまちづくりへの対応など、もおか70未来をつむぐプロジェクト予算として編成に努めたところです。

※令和6年度当初予算の主な充填事業及び新規事業については、5ページをご覧ください。



日下田 喜義 議員

- 健康推進について
- ごみの管理について
- ナラ枯れについて
- 市道等の除草について
- 地区防災計画について



一般質問はこちら

健康ポイント事業の目的は

代表質問

昨今、健康ポイント事業を導入する自治体が増えたのは、健康に関することに無意識な層や健康づくりのために何かしたいが始めるきっかけがなかった層に、アピールする効果が期待できるからではないかと思えます。健康ポイント事業は、本市の健康づくりの各種事業や活動を推進するための重要なツールになると思えます。

そこで、この事業の目的は、どのようなものなのか伺います。

答弁

健康ポイント事業は、健康づくりの基本であるウォーキングなどの運動と市や職場での健診、人間ドックなどを受診することで、ポイントを獲得し記念品を受け取れる事業です。

この事業に参加し、運動や健診を受診することにより、記念品を獲得できるという付加価値がつき、自らが積極的に健康づくりに取り組むきっかけとなり、市民の健康意識の高揚や運動に対する機運を高め、健康増進を図ることが目的です。



中村 和彦 議員

- 『若者会議』の総括と今後の展望について
- 真岡鐵道への支援策について
- 福祉分野の諸課題について
- 教育分野の諸課題について



一般質問はこちら

コミュニティ・スクール導入に向けた検討状況は

代表質問

労働人口が減少し、様々な職場で人手不足が叫ばれる中、教員はもとより、それをサポートする教員業務支援員も確保が難しい状況です。

加えて、学校教育のニーズが多様化し、教員の負担が増している中、学校運営に地域の協力は不可欠であり、市内全ての学校でコミュニティ・スクールを速やかに導入すべきであると考えます。

未実施校では、これまでどのような検討を進めてきたのでしょうか。

答弁

現在、各学校へ意向調査を行っており、その結果をもとに、来年度は5校でコミュニティ・スクールを導入する予定です。

その他の学校でも、教職員や保護者への説明会、研修などを実施し、市内全校への導入に向けて取り組んでいきます。

基本的には、学校ごとに導入し、児童生徒の実態や地域の特性を踏まえた特色ある教育活動の充実、活性化を図っていきます。

※コミュニティ・スクール…学校運営協議会を設置した学校のことを指し、目指すべき教育のビジョンを学校が保護者や地域と共有し、目的の実現に向けて共に協働していくための仕組みです。



大隈 広郷 議員

- 防災地震対策について
- 予防接種健康被害救済制度について
- 带状疱疹ワクチン接種助成について
- 地域に於ける歴史教育について



一般質問はこちら

予防接種健康被害救済制度の周知徹底を

質問

予防接種健康被害救済制度は、昭和51年に導入されました。主に、結核患者の方を救済するところから始まったとされています。

この予防接種健康被害救済制度があるということを市民に周知するために、今まで以上に周知徹底していただきたいと思います。

また、同制度で認定された件数について伺います。

答弁

予診票や接種券を送付する際に、説明書を同封しているほか、ホームページや全戸配布のチラシにより、周知しており、今後も引き続き、周知していきます。

救済制度の対象となる予防接種のうち、令和元年度以降、救済制度の申請があったのは、令和6年1月末現在、新型コロナワクチン接種のみで、申請件数が10件で、国から認定を受けた件数は6件です。

※予防接種健康被害救済制度…予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。



市井 元 議員

- 市民の安心・安全について
- 不登校問題について
- 市民生活の利便性について
- インターネットリテラシー向上について
- 久下田地区の空きスペース（駅舎内）の活用について
- サテライトオフィスの整備推進事業について



一般質問はこちら

おくやみコーナーのサービス内容は

質問

現在、遺族向けに「おくやみハンドブック」などを配布していますが、手順が分からなかったり、複雑だったりするなどの課題があります。

遺族が各部署を回らなければならないなどの負担を軽減するためにも、ワンストップでできる「おくやみ窓口」の開設は、とても必要であると考えているところです。

現在、導入を検討している「おくやみコーナー」の具体的なサービス内容について伺います。

答弁

おくやみコーナーでは、亡くなられた方の情報をもとに、12課、約50種類の手続の中から、葬祭費の請求や医療保険、介護保険など必要な手続を判定し、申請書を自動で作成することができます。

おくやみコーナーの担当者が説明しながら受け付けますが、より詳細な説明が必要な場合は、おくやみコーナーまで担当課の職員が出向くことで、遺族の方は移動せずに手続を完了することができるようになります。



服部 正一郎 議員

- 災害への備えとして発電機の購入支援について
- 通学路の停止線や外側線の補修について
- コナラやミズナラなどに発生する広葉樹枯れの防止について
- 県道真岡・岩瀬線における除草について



一般質問はこちら

コナラやミズナラなどの ナラ枯れ被害の防止は

質問

コナラやミズナラなどの広葉樹は、山の保水力を高め、土地を豊かにし、生物の生態圏に大切な環境ですが、広葉樹が枯れる伝染病「ナラ枯れ」が全国的に発生しています。

本市は、自然豊かな環境にありますが、井頭公園周辺、根本山、磯山、青谷、南高岡、三谷などの山間部でどのくらいの被害があるか、また今後の防除対策をどのように考えているか伺います。

答弁

本市で管理する市有林や施設におけるナラ枯れの被害状況につきましては、根本山自然観察センター地内で174本、高勢中央公園で7本、オオムラサキ公園で1本のナラ枯れを確認しています。

なお、ナラ枯れを確認した場合には、ナラ菌を媒介するカシノナガキクイムシが羽化して飛び立つ前の5月中旬までに、ナラ枯れを確認した樹木への防除対策が完了するよう、作業を進めています。

※ナラ枯れ…カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ナラ類等の樹木が集団的に枯れる樹木の伝染病



飯塚 正 議員

- 国民健康保険事業について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 会計年度任用職員について
- 災害避難所の整備について



一般質問はこちら

国民健康保険の子どもに課している 均等割部分の撤廃を

質問

政府は、地方自治体が子ども医療費の助成をすると国民健康保険税の国庫負担が減額される調整措置、いわゆるペナルティを課してきましたが、2024年度から18歳未満までを対象に廃止することを決めました。

ペナルティが廃止されることによって、国民健康保険特別会計の収入の部分が増加するので、現在まで子どもに課している均等割の部分の撤廃をしてはどうでしょうか。

答弁

撤廃した場合の財源は、国庫負担の減額調整分を差し引いても、毎年3,200万円程度の不足が見込まれ、他の国民健康保険加入者の負担が増えることになります。

また、子どもに係る均等割額に対する支援制度の拡充については、国に財源確保等の要望をしており、今後、加入者が減少する中で、安定的な運営維持のための協議も行っていますので、本市単独で撤廃することは考えていません。

※国民健康保険の財政運営は、県が責任主体となって、県内の市町とともに運営に当たっている。



佐々木 重信 議員

- 真岡市二宮町合併15年を迎えるに当たって
- 二宮地区へのスマートインターチェンジに合わせた地域振興について
- 真岡市都市計画マスタープランについて
- 科学教育センターについて
- 令和6年度予算案について



一般質問はこちら

真岡市二宮町合併のプラス面を生かしているのか

質問

15年前の真岡市と二宮町の合併時と比較すると、人口減少となっており、予算の投資状況については、真岡地区には東運動公園110億円、新庁舎85億円、新庁舎周辺整備に45億円、合計250億円になろうとしています。二宮地区には、これと言った目玉施策がありません。

これらを鑑み、合併によるプラス面が生かされていないのではないかと見受けられるのですが、如何捉えているのか伺います。

答弁

合併の最大のプラス面は、合併により財政基盤が充実し、これまで以上に効率的・弾力的な財政運営が行えることです。そこで、このスケールメリットを生かした事業を積極的に実施してきました。

例としては、「道の駅にのみや 二宮尊徳物産館」の改築、「まちなか保健室 にのみや館」の開設、「一般県道 西田井・二宮線」バイパスの早期開通、「国道294号」の4車線化工事などです。



七海 朱美 議員

- 災害対策について
- 皆歯科検診について
- 真岡市における有機農業について
- 学校給食について



一般質問はこちら

今後の有機農業の推進予定は

質問

有機農業で栽培された野菜等を選んで食べて食べるにより、腸内環境を整えることができ、健康な体、脳、そして心を育むことにつながる。更に、それはSDGs、持続可能な自然環境維持にもよいことが分かっています。令和5年には、2月9日に初めて有機農業セミナーが開催され、更に、9月2日には第二回目も開催されていますが、その後の反響と今後の有機農業の推進に向けての進捗状況について伺います。

答弁

セミナーの参加者に実施したアンケートでは、有機農業の認知度向上や継続的なセミナー開催などを希望する意見が寄せられており、セミナーを通して理解を深めるきっかけを提供できたと考えています。

今後は、従来のセミナーから、より実践的な内容を組み込んだものを作りたいと考えており、関係機関と連携しながら、有機農業に取り組む生産者が増加するようなセミナーとなるよう検討を進めていきます。